

ベトナム・フエ研究最前線

— 周辺集落研究からの視点 —



日時：平成22年7月10日(土)-11日(日)
 場所：関西大学以文館4階セミナースペース



関西大学文化交渉学教育研究拠点 (ICIS)・トヨタ財団助成「フエ都城周辺集落の伝統民間文書保存収集プロジェクト」共催

第1部 フエ伝統地方文書群の世界

- | | |
|----------------|----------------|
| 西村昌也 (関西大学) | 岡本弘道 (関西大学) |
| 嶋尾稔 (慶應義塾大学) | 松尾信之 (名古屋商科大学) |
| 上田新也 (日本学術振興会) | 桃木至朗 (大阪大学) |
| 新江利彦 (京都大学) | 蓮田隆志 (京都大学) |

第2部 フエ都城旧外港集落の調査研究 文化交渉学としてのフィールド研究をめざして

第1セッション 文字資料・地理情報・物質文化の分析

- | | |
|------------------------|-------------|
| 西村昌也 (関西大学) | 岡本弘道 (関西大学) |
| 野間晴雄 (関西大学) | 井上充幸 (関西大学) |
| グエン・ティエー・ハー・タイン (関西大学) | 篠原啓方 (関西大学) |

第2セッション 聞き取り・参与調査資料の分析

- | | |
|---------------------------|-------------|
| 黄蘊 (関西大学) | 末成道男 (東洋文庫) |
| 木村自 (大阪大学) | |
| グエン・クワン・チュン・ティエン (フエ科学大学) | |

コメント

- | | |
|----------------|-------------|
| 三尾裕子 (東京外国語大学) | 桃木至朗 (大阪大学) |
| 末成道男 (東洋文庫) | |



阪急電鉄・地下鉄堺筋線で「北千里」行乗車で直行。関大前駅で下車。※関大前駅から関西大学までは徒歩約5分。

参加は無料ですが、事前に参加申し込みをお願いします。ご希望の方はレセプションへの参加希望の有無を添えて、[所属・役職・氏名]を下記までご連絡下さい。

MAIL: coekyoten@ml.kandai.jp
 FAX: 06-6368-0235
 TEL: 06-6368-0256

関西大学文化交渉学教育研究拠点

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

MAIL: coekyoten@ml.kandai.jp

URL: <http://www.icis.kansai-u.ac.jp/>

WEBサイトはこちら

文化交渉

検索

会議に参加される方には、2010年3月に出版しました「フエの歴史と文化：周辺集落と外部からの視点」(ベトナム語)を贈呈します。尚、部数に限りがありますので、先着順であることをご了承下さい。

7月10日(土) 第1部 フエ伝統地方文書群の世界

13:00-13:10	開会の辞
13:10-13:40	西村昌也 (関西大学 ICIS・COE 助教) フエ伝統地方文書収集保存プロジェクトの概要: 文書群としての価値
13:40-14:15	嶋尾稔 (慶應義塾大学言語文化研究所・教授) フエ近郊村落の丁簿の史的意義について
14:15-14:50	上田新也 (日本学術振興会・特別研究員) フエ周辺村落文書の可能性—タインフォックにおける収集史料より—
14:50-15:05	休憩
15:05-15:40	新江利彦 (京都大学大学院地球環境学学・助教) チャム王家文書 (占婆王府檔案) を読み解く: 黎明・西山朝・阮朝嘉隆年間のフエ美利邑文書との比較から
15:40-16:15	岡本弘道 (関西大学 ICIS・COE-PD) フエ周辺地域における勅封状の諸相
16:15-16:50	松尾信之 (名古屋商科大学経営学部・教授) 1930年代の地簿資料の位置づけ
紙上参加	蓮田隆志 (京都大学東南アジア研究所・研究員) ハーティン村文書の初歩的考察よりみる国家と村落の関係
16:50-17:05	コメント: 桃木至朗 (大阪大学コミュニケーションデザインセンター・教授)
17:10-17:50	総合議論 (司会 西村昌也)
18:00-20:00	レセプション (新関西大学会館南棟レストラン "チルコロ" にて) 会費制 (3,000円)

7月11日(日) 第2部 フエ都城日外港集落(フォンヴィン社)の調査研究: 文化交渉学としてのフィールド研究をめざして

09:30-09:40	開会の辞
09:40-10:10	西村昌也 (関西大学 ICIS・COE 助教) 歴史地理学的視点からのフエ都城北郊域の理解
10:10-10:40	野間晴雄 (関西大学文学部・教授) フエ近郊外港商業地区の空間分節とその含意
10:40-10:50	休憩
10:50-11:20	グエン・ティエー・ハー・ティン (関西大学 ICIS・COE-RA) 地簿分析からみたディアリン地区の景観変化—1935～1996
11:20-11:50	岡本弘道 (関西大学 ICIS・COE-PD) 井上充幸 (関西大学 ICIS・COE 特別研究員) フエ郊外バオヴィン・ディアリン両村の形成と変遷 —収集家譜・文書史料および聞き取り調査を通じて—
11:50-12:10	篠原啓方 (関西大学 ICIS・COE 特別研究員) フエ碑石資料収集の成果と研究の展望
12:10-12:30	質疑応答
12:30-13:25	昼食休憩
13:25-14:25	グエン・クワン・チュン・ティエン (フエ科学大学歴史学部長) 通訳: 新江利彦 フエ都城周辺の水上居住民について
14:25-14:55	黄蘊 (関西大学 ICIS・COE-PD) フエ・ミンフォン (明郷) における天后信仰の動態性と多面性
14:55-15:25	未成道男 (東洋文庫・研究員) キン族から見た明郷 (ミンフォン) の特徴—隣接村ディアリンにおける宗教儀礼との比較より—
紙上参加	木村自 (大阪大学大学院人間科学研究科・助教) 輩行字からみるフエ・フォンヴィン社の明郷および華僑華人
15:25-15:40	休憩
15:40-16:00	質疑応答
16:00-16:20	三尾裕子 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所・教授) ホイアンや東南アジアの華人系住民研究の視点から
16:20-16:40	未成道男 (東洋文庫・研究員) 近郊集落タインフォック (清福) 村研究の視点から
16:40-17:00	桃木至朗 (大阪大学コミュニケーションデザインセンター・教授) ベトナム史・東南アジア史研究の視点から
17:00-18:00	総合議論 (司会 西村昌也)

文字資料・地理情報・物質文化の分析
第1セッション聞き取り・参与調査資料の分析
第1セッション

第2部へのコメント

